

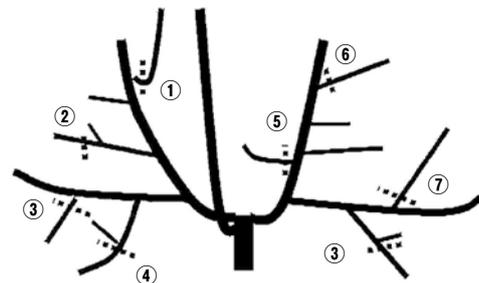
TAC通信

毎月、TAC (担い手支援担当) の取組み状況などをご報告いたします。

久喜地区 (北部エリア) 担当の穂山です。みかん剪定の情報提供をさせていただきます。

みかんの生育適温は15~18℃と温暖な気候を好みます。特に幼木は寒さに弱く、-5℃以下になると枯れる等の被害が発生してしまいますので、被覆資材 (コモ、寒冷紗、不織布等) で覆う等の防寒対策を行いましょう。

剪定の実施時期は霜の心配がなくなる3月下旬から発芽するまでに実施します。剪定を行わないと樹勢が低下し、最終的には収量が下がり病害虫の発生にもつながります。みかんの樹形は開心自然型が一般的と言われています。開心自然型とは若木のうちから主枝を3本決め、斜め上に枝を伸ばす栽培方法です。樹高が高くなりにくいので管理しやすい樹形です。それぞれの主枝には2~3本の垂主枝 (主枝から分枝した枝で、樹形の骨格を構成している太い枝) を配置し、垂主枝には数本の側枝を配置します。樹が大きくなってきたら間引き剪定を行い、内部まで光線が良く入るようにします。ご参考にいただければと思います。



- ①主枝作り…競合する枝を間引き剪定
- ②大きく間延びした枝…間引き及び切り戻し剪定
- ③先端が下垂している枝…切り戻し剪定
- ④地面に届くような枝…間引き及び切り戻し剪定
- ⑤内向枝…間引き剪定
- ⑥樹冠上部の張り出し枝…間引き及び切り戻し剪定
- ⑦強い立ち枝…基本的には間引き剪定

※資料参考書籍
書籍名「はじめてでも安心 プロが教える
おいしい果樹の育て方」
監修者 小林幹夫